

旧久留米藩士・伊福家の明治時代

会期：①令和6年10月3日（木）～29日（火）②11月1日（金）～26日（火）

久留米市立六ツ門図書館展示コーナー

令和6年9月9日付けで寄贈を受けました「伊福家資料(第3次)」を初公開します。

本資料群は、久留米藩の中級藩士であった伊福家に伝来したもので、明治9年(1876)に士族として伊福家の家督を相続した茂(始め平太郎、1854～1898)と、その子女に関する近代文書を中心とし、総数は77点です。そのうち、①茂が警察署巡查として受けた辞令等5通、②茂の子が受けた市内小学校卒業証書等3通を公開し、明治維新に伴い、藩主との主従関係が解消された後、旧伊福家が明治時代をどのように歩んだのかを紹介します。

●伊福茂(平太郎)

安政元年(1854)12月1日、久留米藩士・伊福勝義の孫として誕生しました。初め平太郎と名乗ります。同4年に父・章雄が死去、明治元年(1868)に勝義が没すると、家督は叔父・勝彦(市助)が相続、同9年に平太郎に引継がれました(No.1)。

平太郎は翌年、巡查雇として草野分署詰を命ぜられ(No.2)、警官の道を歩むこととなります。同24年に巡查教習課程を卒業(No.3)、同30年に臺北警察署勤務(No.4)、ほどなく宜蘭警察署に配置(No.5)されますが、翌年、武装集団の潜伏現場に急行して銃弾を受け、殉職しました。

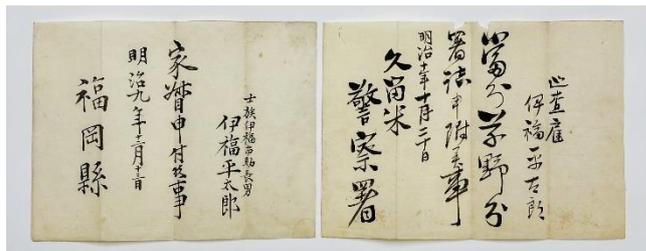
●近代日本の警察制度

明治維新直後、軍隊である藩兵(諸藩の兵)が治安維持に当たりました。明治4年(1871)、東京府に邏卒(のちの巡查)が設置されたことが近代国家警察の始まりといわれます。同7年には東京警視庁が設立され、その後曲折を経て、国家直属の警視庁と、各道府県知事

が直接管理下に置く地方警察の体制に落ち着きました。

●No.1〔辞令〕明治九年(1876)十二月十三日

No.2〔辞令〕明治十年(1877)十月二十日



●No.3〔卒業証書〕明治廿四年(1891)八月五日



●No.4〔辞令〕明治三十年(1897)四月十日

No.5〔辞令〕明治三十年(1897)四月十七日



●臺北警察署

明治28年(1895)、日清戦争が終結すると、日本は下関条約に基づき清国から割譲された台湾を統治するため、台湾総督府を設置しました。台湾総督府は、台湾の各地に警察署を設置しました。伊福茂が勤務した

臺北警察署、宜蘭警察署は、いずれも当時の台北州（台湾の北部）に置かれていました。

●久留米市の初等教育(明治 20～30 年代)

- ・旧城下町を範囲として久留米に市制が敷かれた明治 22 年(1889)には、庄島・^{ほらんが}原古賀・日吉・両替の4つの尋常小学校(4年制)と、久留米高等小学校(4年制)がありました。尋常小学校には満6歳から入学できましたが、実際はそれぞれの事情によって異なったようです。就学率は当時、男子 57.6%、女子 38.6%でしたが、明治 30 年後半には全体で 90%台になりました。
- ・明治政府は、明治 19 年(1886)の小学校令で、簡易科3年ないし尋常科4年の就学義務を明確化し、同 33 年(1900)の小学校令改正で、義務教育の修業年限を尋常小学校4年に統一し、授業料を徴収しないようにしました。

●No.6〔修業証書〕 明治廿四年(1891)

茂の長男・^{むらじ}連は、明治16年(1883)3月に誕生しました。同 24 年、ちょうど坂本繁二郎(のちに洋画家となる)と入れ替わりで、両替尋常小学校に入学しました。所在地の両替町は現在の市役所(城南町)付近にあたり、町名は江戸時代に両替商があったことに由来します。

●No.7 修業証書 明治三十一年(1898)三月三十日

連は明治 25 年(1892)3月に尋常小学校科2年期を修業した後、父・茂の佐賀県神崎警察署赴任により転居、同郡の三田川尋常小学校を卒業しました。同 30 年(1897)、茂の台湾警察署赴任に伴い久留米市に戻ったようで、久留米高等小学校に進学しました。

●No.8 卒業証書 明治三十二年(1899)三月廿九日

連の弟・一二は、佐賀県神崎郡^{みたがわ}三田川村立三田川尋常小学校から両替尋常小学校に転校し、明治 31 年(1898)3月に第3学年を修業して再び転校、翌年3月

に日吉尋常小学校を卒業しました。この間の事情ははっきりしませんが、前年4月に父・茂が殉職したことが影響しているものと推測されます。

●伊福兄弟が通った小学校

- ・両替尋常小学校…明治17年(1884)に弘道小学・篠山小学が合併して創立した両替小学校を前身とし、同 19 年(1886)4月の小学校令改正により設立、同 35 年(1902)に篠山尋常小学校に改名されました。
- ・久留米高等小学校…明治17年(1884)創立の篠山高等小学校(現在の城南町、商工会議所辺り)が南薫西町に移転して設立、同 27 年(1894)4月に篠山町(現在の城南中学校の位置)に新築移転しました。
- ・日吉尋常小学校…明治 16 年(1883)、東里・櫛原・蛭川・日吉・日吉西・三本松の6小学が合併して日吉小学と称し、同 19 年(1886)4月の小学校令改正により日吉尋常小学校となりました。同 42 年、南薫尋常小学校が分離・設立します。

